

# 令和元年度 岩見沢市施策評価シート

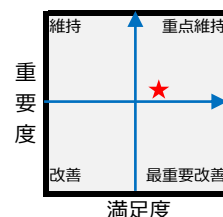
基本目標	4	<b>豊かな心と生きる力をはぐくむまち</b>	福祉課 国保医療助成課 健康づくり推進課 子ども課 図書館
基本施策	1	<b>子ども・子育て支援の充実</b> 結婚から妊娠・出産・子育てにいたる切れ目のない支援の充実を図るとともに、地域全体で子どもの健やかな成長や子育てを支えていくための総合的な環境整備を推進します。	
担当課			
施策を取り巻く状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>全国的に少子化が進行する中、本市においても出生数は年々低下し、合計特殊出生率や年少人口比率は全国平均を下回る状況にあります。</li> <li>また、都市化や核家族化、女性の働き方の変化といった複合的な背景により、子育て世帯の求めるニーズは多様化・複雑化しており、出産や育児に対する心理的・経済的な不安や負担を感じる家庭も増えています。さらには、子どもの貧困や障がい、児童虐待など、社会的な支援を必要とする子どもや家庭の問題も深刻な課題となっています。</li> <li>こうしたことから、希望する誰もが結婚・妊娠・出産に喜びや幸せを感じ、安心して子育てのできる環境をつくるとともに、すべての子どもが健やかに成長し、社会的に自立していくことができるよう、行政と地域、関係団体等が互いに連携しながら、地域全体で子どもの成長と子育てを支えていくことが求められています。</li> <li>本市では、子ども・子育てプランに基づき、様々な事業を展開するとともに、こども・子育てひろば「えみふる」を中心に、いつでも気軽に相談や支援を受けられる環境を整備しています。</li> </ul>			

## 目標達成状況

### 【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	Rxx (20xx)	Rxx (20xx)	Rxx (20xx)	Rxx (20xx)	順位
満足度	17.9					12
重要度	0.49					10

改善度
2.97
(13位/32施策)



### 【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
出生数	428人 (H29)	↗	出生届が提出された子どもの人数	399人				
子育てに関する相談件数	489件 (H28)	↗	えみふる構成部門が連携して対応した子育てに関する相談件数	506件				
子育て支援センターの利用親子組数	1,458組 (H28)	↗	子育て支援センター事業に参加した親子の数	1,241組				
乳幼児健康診査受診率	96.3% (H28)	↗	乳幼児健康診査対象児のうち、受診者の占める割合	98.4%				

### 分析

市民意識調査による施策に対する「満足度」は中位に属していますが、重要度は相対的に高い傾向にあり、改善度が比較的高くなっている。出生数の減少、共働き家庭の増加等により家庭内保育が減少傾向にあるため、3歳以下の子どもが利用する子育て支援センターの利用者数は減少傾向にある。

## 総括

評価結果	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 遅れている	取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児等医療費助成を行うことにより、子育て世帯の経済的な負担軽減するとともに乳幼児等の健康増進を図ることができた。</li> <li>子育て支援センター事業に参加した親子の組数については、少子化と家庭内保育の減少の傾向を踏まえると、必然的に減少する一方で、子育てに関する相談連携件数は増加しており、成果指標を総合的にみると現状値から向上したと判断した。ファミリー・サポート・センター事業などの子育てと仕事の両立を支援する事業の新規展開や、あそびの広場を中心とした子ども・子育て環境の充実を図ることで、安心して子どもを産み育てる環境の提供に努めることができた。</li> <li>各乳幼児健診毎に個別通知しているため、乳幼児健診の受診率向上につながっている。未受診者には受診勧奨し、翌月の受診につなげている。</li> <li>高等職業訓練促進給付金に関しては受給者4人全てが新規申請と、前年度の新規申請者数（6人中2人）を上回っているなど、一定の成果が得られていると判断できる。</li> </ul>
	課題と今後の方向性		<p>【内部評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続して医療費助成を行い、経済的な負担軽減・乳幼児等の健康増進を図る。</li> <li>保護者の子育てと就労の両立を支援を目的に実施する病児病後児保育事業については、利用率が低下傾向にあるため、費用対効果と子育て環境の充実の両面から検討を進めていく必要がある。また、3歳以下の子どもをもつ家庭における多様なニーズにマッチした事業やサービスを今後も継続して提供していく必要がある。</li> <li>乳幼児健康診査受診率の向上に向けては、これまで同様に、受診者への個別通知、未受診者への電話や訪問などによる受診勧奨を実施する。</li> <li>給付金・援助金制度に関して、効果的な周知の方法を模索し、受給者の増に向けた取組みを検討していく。</li> </ul> <p>【外部評価意見】</p>

## 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
乳幼児等医療助成事業 【国保医療助成課】	・助成件数 就学前児童 44,140件 小学生 32,917件 中学生 21件	A	B	B
母子等福祉事業 【福祉課】	・母子・父子自立支援員相談対応件数 延べ705件 ・母子家庭等自立支援給付金事業 高等職業訓練促進給付金 4人 ・ひとり親家庭児童修学援助金 21人	A	B	A
子ども・子育て支援事業 【子ども課】	・産前産後ヘルパー事業 登録96名、利用532回 ・子育て短期支援事業 利用延日数31日 ・子育て支援夜間養護等事業 利用延日数1日	B	A	B
子育て総合支援センター事業 【子ども課】	・子育て支援センター事業 おしゃべりルーム1,835名、リフレッシュ支援事業19名、ベビーマッサージ講習会132名、コミュニケーション広場（父と子）35組75名 ・子ども発達支援センター事業 発達相談支援件数 774件 ・つどいの広場事業 ひなたっ子193回 13,897名	B	A	B
ファミリー・サポート・センター事業 【子ども課】	・10月から子どもサポートセンター「いま、ここ」が運営するファミリーサポートはおはおに業務を委託。援助活動件数141件（10～3月） ・保育サービス講習会を11月及び2月の2回開催。提供会員計12名登録 提供会員数34名 依頼会員77名	A	B	B
あそびの広場運営事業 【子ども課】	・来場者数 市内 26,355人 市外 38,911人 団体利用者1,226人 計66,492人	A	B	A
不妊・不育症治療費助成事業 【健康づくり推進課】	・特定不妊治療費助成 50件（助成額 5,418,346円） ・一般不妊治療費助成 22件（助成額 612,251円） ・不育症治療費助成 0件	A	B	A
栗沢認定こども園運営事業 【子ども課】	認定こども園を栗沢地域に開設。幼稚園と保育園、両方の機能を兼ね備え、両方の良さを活かした施設で、保護者がライフスタイルに合わせて利用。 定員：1号認定15人、2号3号認定45人。 入園状況：1号認定11人、2号3号認定39人。	A	A	A
保育所入所運営事業 【子ども課】	保育所：公立1（定員90人）法人立13（定員930人）、認定こども園：公立1（定員60人）、小規模保育所：私立2（定員38人） 計17施設（定員1,103人） 第3子以降保育料無料化に加え、第2子保育料無料化（同時入所の場合）に取り組むとともに、保育所利用する全ての家庭の負担軽減のため、保育料の減額・細分化を実施。	A	A	A
病児・病後児保育運営事業 【子ども課】	病気の症状安定後から回復期まで専門施設で保育することにより、保護者の子育てと就労の両立を支援。 登録児童数：196人 利用児童延べ人数：病児保育139人、病後児保育26人	B	B	B
児童厚生施設建設事業 【子ども課】	稲穂児童館移転改築工事 工事期間 6月7日～12月14日 工事金額 173,661千円	A	B	B
母子保健推進事業 【健康づくり推進課】	・母子手帳交付数398人・母親学級受講数142人・ペア（両親）学級受講数132人 ・乳幼児健康診査（股関節脱臼検査含む）受診数 2,215人・フッ素塗布受診数 395人 ・訪問指導数 604人・健康教育人数 620人・健康相談人数 794人	A	B	B
幼稚園入所運営事業 【子ども課】	新制度移行幼稚園：法人立4（定員645人） 第3子以降保育料無料化に加え、第2子保育料無料化（小3から数えて2人目）に取り組むとともに、新制度に移行した幼稚園を利用するすべての家庭の負担軽減のため、保育料の減額・細分化を実施。	A	A	A
幼稚園就園特例奨励事業 【子ども課】	新制度に移行していない幼稚園：法人立1（定員150人） 新制度に移行していない幼稚園に就園する園児のうち、18歳未満の子から数えて第3子目以降の子の保護者に対して、保育料等の無料化を行う。 ※平成31年度から全園が新制度移行するため事業廃止予定	D	D	D

## 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
青少年対策事業 【子ども課】	・青少年センター運営委員会 開催2回 ・街頭補導77回 延人員236人 ・環境浄化モニター活動12回 ・青少年センターだよりの発行 2回 ・広報誌「ふれあい」の発行 2回	C	B	B
青少年育成事業 【子ども課】	・少年の主張 中学校10校17名 ・子ども発明工夫展 小学校11校43作品 ・青少年の体験活動 中学校1校2名参加 ・メディアリテラシーに関するワークショップ 56名 ・地域子ども会育成会連合会主催事業として、初級リーダー研修2回4名 ・能楽体験ツアー15名、わくわく子どもキャンプ30名、野球大会6チーム110名 ・書初め大会90名、子どもかるた大会33名	B	B	B
留守家庭児童対策事業 【子ども課】	・児童館のほか、公共施設や小学校、地域施設等の計21カ所において、放課後児童クラブを設置し運営した。 ・H30年4月から対象学年を小学校3年生までから6年生までに拡大。6つのクラブを新規に開設・運営した。登録児童数（1～6年）1,136人	A	B	B
放課後児童クラブ建設事業 【子ども課】	・対象学年を6年生までに拡大するにあたり、児童が適正な運営基準や施設規模のもとで、安全に活動できるよう鉄北放課後児童クラブを鉄北児童館の敷地内に整備した。 延床面積 187.77㎡ 総事業費：工事請負費54,323,965円	A	B	B
ブックスタート事業 【図書館】	・平成31年3月までのブックスタートパックの贈呈数 434組（配布率100%） ・3歳未満乳幼児への読み聞かせ会「ベビカフェ」開催 年3回 ・絵本の読み聞かせ 本館/月3回、来夢21/週4回、北村学習交流館/月2回	A	A	A

## 事務事業一覧

(単位：千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
重点 乳幼児等医療助成事業 【国保医療助成課】	乳幼児等の健康増進、子育て世帯の経済的負担の軽減のため、乳幼児等の医療費の助成を北海道の基準に加えて市独自施策として拡充して実施。	195,429 (2.0人) 209,829		
未熟児養育医療給付事業 【国保医療助成課】	未熟児の健康管理と健全な育成を図るため、医療を必要とする未熟児に対して養育に必要な医療を給付。	5,670 (0.0人) 5,670		
重点 母子等福祉事業 【福祉課】	ひとり親からの各種相談に対して、母子・父子自立支援員による適切な助言指導を行う。また、就業支援、経済的支援策として母子家庭等自立支援給付金事業及びひとり親家庭児童修学援助金の給付を実施し、ひとり親家庭の経済的・精神的自立の促進を図る。	8,178 (0.0人) 8,178		
児童手当等給付事業 【福祉課】	家庭生活の安定と次代の社会を担う児童の健全育成及びひとり親家庭の生活の安定と自立、児童福祉の増進のため、児童手当及び児童扶養手当を支給するとともに、経済的困難を抱える妊産婦について、助産施設入所に係る費用を負担し援護する。	1,335,075 (3.0人) 1,356,675		
重点 子ども・子育て支援事業 【子ども課】	岩見沢市子ども・子育てプランに基づき、ショートステイ、トワイライトステイや産前・産後ヘルパーなどの事業を実施することにより、子どもが健やかに成長し、安心して子育てができる環境づくりを行う。	7,013 (2.0人) 21,413		
重点 子育て総合支援センター事業 【子ども課】	子育て支援センターを中心に子育てに関する相談・助言等や親子の交流事業を実施するほか、子ども発達支援センター機能を拡充し、関係機関と連携を図り、早期発見・早期療育を含めた総合的な子育て支援を行う。	25,450 (2.0人) 39,850		
重点 ファミリー・サポート・センター事業 【子ども課】	乳幼児や児童の預かりなどの援助を受けたい人（利用会員）と援助を行いたい人（提供会員）を募集するほか、会員相互の子育て援助活動を行う。	4,975 (0.0人) 4,975		
重点 あそびの広場運営事業 【子ども課】	子どもの成長に応じた安全な遊び場を提供し、子どもの心身の発達を促すとともに、市民に安心して子育てをすることができる環境及び子どもを中心とした交流の場の提供。	32,019 (1.0人) 39,219		
重点 不妊・不育症治療費助成事業 【健康づくり推進課】	赤ちゃんを望む夫婦に経済的負担の大きい不妊症及び不育症の治療費の一部を助成し、安心して妊娠・出産できるよう支援。	6,031 (0.0人) 6,031		

事務事業一覧

(単位：千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
ふれあい子どもセンター運営事業 【子ども課】	市内に認可保育園は14か所あり、唯一の公立保育園として保育を必要とする児童に特別保育事業を取り入れながら保育を行う。	32,189 (6.0人) 75,389		
重点 栗沢認定こども園運営事業 【子ども課】	認定こども園を栗沢地域に開設。幼稚園と保育園、両方の機能を兼ね備え、両方の良さを活かした施設で、保護者がライフスタイルに合わせて利用。定員：1号認定15人、2号3号認定45人。	66,700 (0.0人) 66,700		
重点 保育所入所運営事業 【子ども課】	市内13か所の法人立保育園、市内2か所の地域型保育事業、法人立保育園の認定こども園及び市外公立保育園に係る保育所入所運営費の負担、法人立保育園の整備振興を図るため、借入れた整備資金の当該年度中に支払いを要する元金及び利子に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。障害児保育、障害児保育特別対策、延長保育、運営費助成、休日保育、一時預かり保育、特定保育の実施。	1,401,088 (3.0人) 1,422,688		
特別保育所運営事業 【子ども課】	へき地の保育に欠ける児童に対し、必要な保護を行うため、へき地保育所を運営する。岩見沢市へき地保育所条例に基づく運営～北村中央保育所、北村幌達布保育所、美流渡保育所	50,417 (3.0人) 72,017		
重点 病児・病後児保育運営事業 【子ども課】	【病児保育】児童が病気の「回復期に至らない場合」であり、かつ、当面の症状の急変が認められない場合において、当該児童を病院・診療所、保育所等に付設された専用スペース又は本事業のための専用施設で一時的に保育する事業。《実施場所：岩見沢市立病児保育施設》 【病後児保育】児童が病気の「回復期」であり、かつ、集団保育が困難な期間において、当該児童を病院・診療所、保育所等に付設された専用スペース又は本事業のための専用施設で一時的に保育する事業。《実施場所：社会福祉法人岩見沢東部保育会東保育園 病後児ルーム》	16,868 (0.0人) 16,868		
児童厚生施設運営事業 【子ども課】	遊びを通して、児童の心とからだの健康を育むことができるよう、児童館の運営を行う。	71,358 (1.0人) 78,558		
重点 児童厚生施設建設事業 【子ども課】	児童の安全性や利便性の向上をはじめ、放課後児童クラブや親子ひろばなど地域における子育て支援拠点としての役割や機能の拡充を図るため、市立稲穂児童館を中央小学校の隣接地に整備。	174,034 (0.0人) 174,034		
重点 母子保健推進事業 【健康づくり推進課】	妊婦から乳幼児期までの母子の健康管理と異常の早期発見並びに健全育成のため、健康診査、健康教育、家庭訪問等を実施。	40,526 (4.5人) 72,926		
重点 幼稚園入所運営事業 【子ども課】	市内4か所の私立幼稚園及び市外3か所の私立幼稚園（岩見沢市の児童）に係る幼稚園入所運営費の負担。	356,050 (0.0人) 356,050		
幼稚園就園奨励事業 【子ども課】	幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者に対して入園料及び保育料を減免する設置者に対する補助。	23,103 (0.0人) 23,103		
重点 幼稚園就園特例奨励事業 【子ども課】	私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児のうち、18歳未満の児童から数えて第3子目以降に該当する園児の保護者に対して奨励金を支給し、保護者負担の軽減を図る。就園奨励費(国補助事業)の対象幼稚園の減に伴う事業廃止。	2,632 (0.0人) 2,632		
幼稚園教育振興事業 【子ども課】	私立幼稚園の事業費に対する補助、私立幼稚園園舎増改築費に対する補助及び私立幼稚園連合会の運営事業費に対する補助。	904 (0.0人) 904		
重点 青少年対策事業 【子ども課】	青少年センターを核として、補導活動や環境浄化モニターによる巡回活動を行い、子どもの健全な成長を促進する。	6,109 (0.0人) 6,109		
重点 青少年育成事業 【子ども課】	青少年が健全な思考や判断力を持ち、将来自らの意思で自立し、社会参加していくことができるよう各種の事業を通じて健全育成を図る。	4,104 (1.0人) 11,304		
重点 留守家庭児童対策事業 【子ども課】	児童館をはじめ、小学校や地域施設等21か所で放課後児童クラブを設置運営し、小学校1年生から6年生までの留守家庭児童の健全育成を図る。	131,311 (1.0人) 138,511		
重点 放課後児童クラブ建設事業 【子ども課】	放課後児童クラブの拡充にあわせ、鉄北児童館の登録児童が適正な運営基準や施設規模のもとで活動し、必要な育成支援が受けられるよう、児童館敷地内に放課後児童クラブ室を整備。	54,324 (0.0人) 54,324		
重点 ブックスタート事業 【図書館】	全ての赤ちゃんへ絵本等のブックスタートバックを贈るほか、読み聞かせや絵本の紹介などのフォローアップ事業を行い、乳幼児と保護者の情操を育む。	1,699 (1.0人) 8,899		



# 令和元年度 岩見沢市施策評価シート

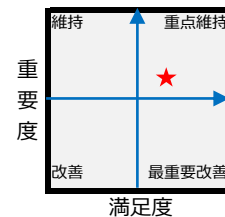
基本目標	4	<b>豊かな心と生きる力をはぐくむまち</b>	担当課 学校教育課 指導室 学校給食課 教育施設課 緑陵高等学校
基本施策	2	<b>学校教育の充実</b>	
	知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育み、郷土に誇りと愛着をもった子どもを育てるため、一人ひとりの個性を活かし、能力を伸ばす学校教育を推進するとともに、安心して学ぶことのできる指導体制や教育環境の充実に努めます。		
<b>施策を取り巻く状況</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 少子高齢化や情報化・国際化の進展といった時代の変革の中にあつて、未来を担う子どもたちが知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」を育てていくことができるよう、一人ひとりの個性を活かし、能力を伸ばす学校教育の推進が求められています。</li> <li>● 教職員の能力の向上や教育環境の充実を通じて教育の質を高めていくとともに、学校と家庭、地域との連携を一層強化していく必要があります。</li> <li>● いじめや暴力などの問題行動や不登校への対応といった教育課題が社会問題化する中、本市においては、教育支援センターを中心とした教育相談環境の充実を図り、問題の未然防止や早期解決に取り組んでいます。</li> <li>● 良好な教育環境のもとで質の高い教育水準を維持していくため、学校規模の適正化について検討を行うとともに、改築や長寿命化改修による計画的な老朽化対策も必要です。</li> <li>● 市立の緑陵高等学校では、地域に開かれた、活力と特色ある学校づくりに取り組んでいます。 また、生徒一人ひとりの自己実現や地域に根ざした人材育成を支えるため、少子高齢化が進む中にあつても、市内の公立高等学校4校の入学定員を維持していく必要があります。</li> </ul>			

## 目標達成状況

### 【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R×× (20××)	R×× (20××)	R×× (20××)	R×× (20××)	順位
満足度	20.4					10
重要度	0.53					6

改善度
4.68
(10位/32施策)



### 【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
全国学力・学習状況調査の平均正答率（小・中学校別）	※1 (H29)	↗	全国学力・学習状況調査の平均正答率	※4				
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の総合評価（小・中学校別）	※2 (H29)	↗	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の総合評価のC以上の割合	※5				
不登校の児童生徒の割合（小・中学校別）	※3 (H28)	↘	在籍児童生徒のうち、明確な理由がなく年間30日以上欠席した児童生徒の割合	※6				
※1：小（国語 A75%B56%・算数 A79%B46%）、中（国語 A77%B72%・数学 A67%B49%） ※2：小（男 67.8%・女 70.3%）、中（男 56.3%・女 70.4%） ※3：小 0.3% 中 2.5% ※4：小（国語 A73%B55%・算数 A66%B52%）、中（国語 A77%B63%・数学 A66%B47%） ※5：小（男 71.7%・女 78.2%）、中（男 66.5%・女 79.5%） ※6：小 0.6% 中 2.9%								

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小算数のA問題の平均正答率が13%下降したが、他の教科については昨年並か上昇傾向にある。</li> <li>・体力、運動能力では、小・中学校の男女ともに4～10%の上昇が見られた。</li> <li>・不登校の割合では、小学校で0.3%、中学校では0.4%の上昇が見られた。</li> </ul>
----	--

## 総括

評価結果	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 遅れている	取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査の平均正答率は、各学校における「教えて考えさせる」授業への組織的な授業改善が進んだ。</li> <li>・小5、中2における新体力テストの結果は、「一校一実践」等、各学校による課題解決への取組が進んだため、大きな成果が見られた。</li> <li>・教育支援センター事業における相談活動及び登校支援が充実した。</li> </ul>
課題と今後の方向性	【内部評価】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の授業改善の推進に学校間格差が見られるため、重点的な指導・助言に努める。</li> <li>・指導室が各学校に配付している「体力カード」を活用した取組の促進を図る。</li> <li>・相談活動及び登校支援等の更なる充実と、各学校におけるピア・サポートプログラムによる不登校の未然防止を推進する。</li> </ul> 【外部評価意見】		

## 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
教育情報システム化推進事業 【学校教育課/指導室】	市内小学校における児童見守りシステムの利用率 96%	B	B	B
子どもがかがやく学校活動支援事業 【指導室】	市内小中学校が企画・立案した事業に対し補助金を交付 ・教職員の資質や指導能力の向上のための講師招聘、道外研修等：11件（264万円） ・外部人材を活用した授業支援や放課後学習：36件（130万円） ・技術支援を必要とする事業の実施（ボランティア費用）：55件（70万円） 各小中学校へ授業支援等の地域ボランティア派遣 延べ13,825名	B	B	B
特別支援教育推進事業 【指導室】	市内小中学校に25名の特別支援教育支援員、1名の学校看護師を配置	B	B	B
教育指導振興事業 【指導室】	・市内小中学校における管理職、ミドルリーダー、若手教員を対象とした研修の開催 26回 ・学校教育指導員によるピア・サポートの授業 15回 ・市内道徳教育の推進に資する研究授業等の開催 中学校30回、小学校16回	B	B	B
外国語指導助手活用事業 【指導室】	市内小中学校及び緑陵高校にALT9名配置	B	B	B
教育支援センター事業 【指導室】	・教育支援センターへの相談件数 2,026件 ・登校支援室来室者32名に支援し、9名復帰（復帰率28%）	B	B	B
学力向上対策事業 【指導室】	・土曜学習会 市内中学生274名参加 ・土曜キッズ英会話 市内小学生 前期（5～9月）97名、後期（10月～3月）89名参加 ・英検学習会 5月33名、9月14名参加	B	B	B
教育研究所運営事業 【指導室】	施設利用者数 5,289名 教育課題の解明並びに教職員の資質向上のための講座開催（プログラミング研修講座、「食物アレルギー」に関する研修会、他） 7回	B	B	B
中央小学校校舎等改築事業 【教育施設課】	中央小学校の基本・実施設計に基づいた移転改築工事を行った。	A	A	A
東小学校校舎改修事業 【教育施設課】	東小学校の基本・実施設計に基づいた大規模改修工事を行った。	A	A	A

## 事務事業一覧

(単位：千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
教育委員会運営事業 【学校教育課】	・教育委員会を開催し、教育行政方針の設定や重要案件の審議を行う。 ・教育委員会委員、教育長を対象とする各種会議に参加することにより、情報等を収集し、広域的な教育行政の推進を図る。	4,133 (2.0人) 18,533		
教育委員会事務局管理事業 【学校教育課】	・教育委員会事務局の管理運営及び教育振興功労並びに教育実践奨励賞及び教育実践児童生徒優秀賞の表彰を行う。 ・PTA連合会事務局や岩見沢育英会など教育関係団体への補助を実施。	7,716 (3.0人) 29,316		
重点 教育情報システム化推進事業 【学校教育課/指導室】	進展を続ける高度情報通信ネットワーク社会に適応できる人材の育成を図るとともに、多様で高度な市民ニーズに応えるため、ICT（情報通信技術）を活用した効果的な授業の展開を進めるとともに、ICT環境の充実・維持及び情報活用能力の向上を図るなど、教育の情報化を推進する。	21,434 (1.6人)		
		32,954		

事務事業一覧

(単位：千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
教職員住宅管理事業 【教育施設課】	教職員住宅の修繕・補修を行い、教職員へ良質な住環境を提供することにより、教育の充実を図る。	6,024 (0.8人) 11,784		
重点 子どもがかがやく学校活動支援事業 【指導室】	子どもが主人公になる岩見沢の教育づくりを推進するため、学力向上に関する取組みや農業などの体験活動など、各学校が創意工夫のもとで企画立案する活動及び各学校における地域ボランティアと連携した活動を支援する。	14,652 (0.3人) 16,812		
重点 特別支援教育推進事業 【指導室】	心身に障がいを持つ児童生徒及び特別な教育的支援を必要とする児童生徒の自立と社会参加に向けた、適切な就学支援を行う。	37,401 (2.9人) 58,281		
特別支援教育振興事業 【学校教育課】	障がいを持つ子供達にそれぞれの障がいに応じた教育環境を整備するとともに、学用品費等の支援を行い特別支援教育の普及奨励を図る。	13,089 (0.2人) 14,529		
重点 教育指導振興事業 【指導室】	新しい時代を拓く児童生徒の生きて働く学力の確実な定着及び心豊かで健全な成長を促す教育指導の充実を図り、「子どもを大切に」する岩見沢の教育づくりを推進する。また、市内中学校区におけるコミュニティ・スクールの導入促進を図る。	6,721 (1.0人) 13,921		
重点 外国語指導助手活用事業 【指導室】	英語を使える児童生徒の育成を目指し、語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)により、外国語教育及び国際理解教育の充実を図る。	36,079 (0.6人) 40,399		
重点 教育支援センター事業 【指導室】	教育支援コーディネーターを相談窓口とし、関係機関と連携しながら、スクールソーシャルワーカー、特別支援教育専門員、スクールカウンセラー、保健師、医療アドバイザーによる教育相談や、登校支援指導員による登校支援を行い、児童生徒、保護者、学校等を支援する。	20,973 (0.6人) 25,293		
重点 学力向上対策事業 【指導室】	子どもたちが自らの可能性を開花させ、人間として豊かな成長を遂げ、自己実現を図る確かな学力の定着を目指して、土曜学習会、囲碁授業、土曜キッズ英会話、英検学習会を実施する。	2,888 (0.1人) 3,608		
重点 教育研究所運営事業 【指導室】	岩見沢市における教育上の諸課題を的確に把握し、その進歩改善のための調査・研究等の推進と充実に努める。また、市民開放、地域・大学との連携事業の拠点として事業を推進する。	21,504 (0.4人) 24,384		
小学校管理事業 【学校教育課】	児童が安全で安心できる環境の中で、学力と豊かな人間性を育てることができる教育環境づくりを推進する。	253,911 (5.2人) 291,351		
小学校教育用コンピュータ整備事業 【学校教育課】	次世代を担う子どもたちが、初等教育段階からICTに触れ、情報活用能力を向上させることができるよう、情報教育に係る環境整備を行う。	44,982 (0.5人) 48,582		
スクールバス運行管理事業 【学校教育課】	遠距離通学となる児童生徒の通学支援及び登下校の安全確保のためのスクールバスの運行を行う。	79,435 (0.3人) 81,595		
小学校就学援助事業 【学校教育課】	経済的理由によって就学困難な児童に学用品等の援助を行い、小学校における義務教育の円滑な実施に資する。	18,075 (0.7人) 23,115		
児童健康管理事業 【学校教育課】	学校保健安全法に基づき、小学校における健康管理及び安全管理を進め、児童の健康保持を図り学校教育の円滑な実施に努める。	19,419 (0.5人) 23,019		
小学校教職員健康管理事業 【学校教育課】	学校保健安全法に基づき、小学校における健康管理及び安全管理を進め、教職員の健康保持を図り学校教育の円滑な実施に努める。	3,748 (0.2人) 5,188		
小学校校舎等管理事業 【教育施設課】	小学校の施設整備、維持管理。補修・修繕、計画的な設備の更新、グラウンド整備などを行う。施設の安全確保を第一に、教育環境の充実を図る。	55,207 (1.9人) 68,887		
学校プール管理事業 【教育施設課】	学校プールの開設。衛生的かつ安全性を重視し管理運営を行う。施設整備の維持管理補修を実施し、施設の安全確保に万全を図る。	6,925 (0.9人) 13,405		

事務事業一覧

(単位：千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
重点 中央小学校校舎等改築事業 【教育施設課】	中央小学校は、現行の耐震基準を満たしておらず、現在地から西側に居住する児童の割合が高くなっていることから、移転改築工事を行う。	412,776 (1.2人)		
		421,416		
重点 東小学校校舎改修事業 【教育施設課】	老朽化が著しい東小学校校舎の大規模な改修工事を行う。	378,660 (1.2人)		
		387,300		
中学校管理事業 【学校教育課】	生徒が安全で安心できる環境の中で、学力と豊かな人間性を育てることができる教育環境づくりを推進する。	189,302 (4.0人)		
		218,102		
中学校教育用コンピュータ整備事業 【学校教育課】	次世代を担う子どもたちが、初等教育段階からICTに触れ、情報活用能力を向上させることができるよう、情報教育に係る環境整備を行う。	27,401 (0.0人)		
		27,401		
中学校就学援助事業 【学校教育課】	経済的理由によって就学困難な児童に学用品等の援助を行い、中学校における義務教育の円滑な実施に資する。	25,079 (0.7人)		
		30,119		
生徒健康管理事業 【学校教育課】	学校保健安全法に基づき、中学校における健康管理及び安全管理を進め、生徒の健康保持を図り学校教育の円滑な実施に努める。	10,916 (0.5人)		
		14,516		
中学校教職員健康管理事業 【学校教育課】	学校保健安全法に基づき、中学校における健康管理及び安全管理を進め、教職員の健康保持を図り学校教育の円滑な実施に努める。	2,307 (0.2人)		
		3,747		
中学校校舎等管理事業 【教育施設課】	中学校の施設設備の維持管理として、補修や修繕、計画的な設備の更新、グラウンド整備などを行う。施設の安全確保を第一に教育環境の充実を図る。	34,422 (2.5人)		
		52,422		
学校給食共同調理所運営事業 【学校給食課】	衛生管理の徹底などにより安全・安心な給食を市内小・中学校25校に年間190回を基準として提供するとともに、児童生徒に対し食指導を実施。	600,605 (4.6人)		
		633,725		
学校給食共同調理所整備事業 【学校給食課】	新学校給食共同調理所の整備に伴い、廃止した旧学校給食北村共同調理所の解体工事を実施。	14,769 (0.2人)		
		16,209		
学校給食共同調理所車両運行管理事業 【学校給食課】	新学校給食共同調理所から市内小・中学校25校に給食を配送する配送車の運行管理。	36,342 (0.2人)		
		37,782		
特別会計高等学校費 【緑陵高等学校】	地域社会のニーズに応えるとともに、次世代を担う人材を育成するための教育活動の推進、教育諸条件の整備に努めるとともに、生徒の学力向上とキャリア教育の充実を図る。また、質の高い教育環境を維持し、特色ある教育活動を円滑に実施するために必要な教材教具の整備を図る。	92,780 (51.0人)		
		580,966		



# 令和元年度 岩見沢市施策評価シート

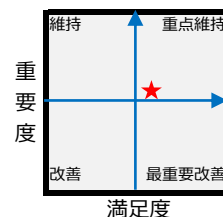
基本目標	4	<b>豊かな心と生きる力をはぐくむまち</b>	担当課	生涯学習・文化・スポーツ振興課
基本施策	3	<b>生涯学習の振興と社会教育の充実</b>		教育施設課
	市民の誰もがそれぞれの関心に応じて自由に学ぶことができるよう、多様なニーズに対応した学習機会や情報の提供を行うとともに、生涯学習センターや図書館等の施設について、適切な維持管理と利便性の向上に努めます。			図書館
<b>施策を取り巻く状況</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会の成熟化や高齢化社会の進展により、個人の生活の質の向上や余暇時間の増加が図られていく中で、生涯にわたる主体的な学びの機会を通じて自身の個性と能力を伸ばし、生きがいのある充実した人生を送りたいというニーズが増えてきています。</li> <li>● 本市が平成25年度に開設した生涯学習センター「いわなび」は、市民の主体的な学習活動の拠点施設として年間延べ10万人以上の利用があり、供用前の旧三館（勤労青少年ホーム・空知婦人会館・働く婦人の家）と比べて大幅に増加しています。</li> <li>● 図書館では、市民の様々なニーズや興味に対応した資料の充実や利便性の向上に努めることにより、読書活動の促進や学習支援を図っており、人口減少が進む中であっても、貸出冊数は概ね維持されています。</li> <li>● 今後も、市民の多様な学習ニーズに対応するため、情報の提供や多様な学習機会の充実を図る必要があり、また、市民としても、その成果が地域に活かされるよう、得られた知識や技能などの学習成果を社会に還元させていくことが求められています。</li> </ul>				

## 目標達成状況

### 【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R×× (20××)	R×× (20××)	R×× (20××)	R×× (20××)	順位
満足度	17.7					13
重要度	0.48					13

<b>改善度</b>
1.94
(14位/32施策)



### 【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
市民大学及び高齢者講座の参加者数	270人 (H28)	↗	市民大学及び高齢者講座を受講した人の実数の合計	249人				
生涯学習センター「いわなび」利用者数	128,144人 (H28)	↗	生涯学習センター「いわなび」を利用した人の合計	117,457人				
市民1人当たりの図書貸出冊数	4.78冊 (H28)	↗	本館等の4図書施設における市民1人当たりの年間貸出冊数	4.92冊				

分析	人口減少やサークル団体の高齢化に伴い、団体運営が困難となり解散となった団体もある。蔵書及び図書サービスの充実により、市民1人あたりの貸出冊数が微増している。
----	--

## 総括

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 遅れている	取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習センターの定期サークルについては、177団体が活動しており岩見沢の生涯学習の場として定着している。利用人数についてもオープン以降毎年10万人を超えているが、指標を達成すべく、施設利用の充実を図るとともに、利用しやすい施設を目指し運営に努める。</li> <li>・市民の多様なニーズに基づき計画的な蔵書整備を行うとともに、司書職員の専門性向上と地域図書サービス拠点の充実のほか、SNS開始などの積極的な情報提供により利便性の向上を図った。また、ボランティアや市民団体、関係機関と連携し読書活動の促進や学習支援を図るなど、様々な取組みにより、貸出冊数を概ね維持できた。</li> </ul>
課題と今後の方向性	<b>【内部評価】</b> ・市民の学び支援事業では、生涯学習の提供として学ぶ機会・参加者同士の交流など、講義内容を検討し充実を図り、今後も新規・若年層の受講を促進するため努力する。 ・多様化する市民ニーズを踏まえ、利便性向上の取組を継続し、貸出冊数を維持する。また、学習ニーズの変化に着目し、先進事例の研究と導入を検討するほか、関係団体、専門家との連携を更にすすめるとともに、学習成果を地域に活かす取り組みを検討する。 <b>【外部評価意見】</b>		

## 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
市民の学び支援事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	「いわみざわ市民大学」、「いわなびチャレンジスクール」、「生涯学習推進事業」の3つの事業を生涯学習センターを拠点に行い、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に学習機会の提供、参加者同士の交流、仲間づくりなど学びながらコミュニティの推進を図ることができた。参加者のアンケートにおいても、多くの受講生が満足である回答として高い評価を得ており、参加者自らの学習意欲を高める結果に繋がった。	A	A	A

## 事務事業一覧

(単位：千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
社会教育委員活動事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	岩見沢市社会教育委員の会議は、本市の社会教育に関する諸計画の立案や、教育委員会の諮問に応じ意見を述べるため、岩見沢市社会教育委員条例の規定に基づき設置されている。委員の定数は15名で、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が委嘱する。現委員は15名で平成30年3月31日までの2年間の任期で、そのうち2名を市民から公募。	601 (0.7人) 5,641		
重点 市民の学び支援事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	生涯学習センター「いわなび」を拠点として、生涯学習の情報発信、相談体制、指導者育成の強化に努める他、いわみざわ市民大学や「いわなび」チャレンジスクールなど、子どもから高齢者まで全世代に向けた事業展開を図り、市民の生涯学習推進に向けた学習活動への支援を行います。上記事業のほか、趣味、教養、娯楽、健康等、気軽に参加できる教室や講座を実施し継続的に利用できる施設としての理解と、生涯学習活動への基礎づくりとなる事業として実施。	8,245 (3.0人) 29,845		
	社会教育施設整備事業 【教育施設課】	社会教育施設整備事業～社会教育施設の利活用を検証し、施設規模や利用形態から適切な施設運営と利用者負担を検討する。指定管理者制度導入事業～市民ニーズの効率的、効果的な対応と行政コストの縮減のため、施設の管理・運営の形態として指定管理者制度の導入の適否を検討する。	379 (1.5人) 11,179	
北村環境改善センター運営事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】	住民のコミュニティ活動を推進し、地域住民の文化を高めるとともに福祉と健康の増進を図るため、改善センターを設置し維持管理を行う。	16,411 (0.0人) 16,411		
北村学習交流館運営事業 【図書館】	地域住民の学習活動を支援する拠点施設として、図書資料を提供し学習活動及び読書活動を支援する。	2,104 (0.0人) 2,104		
北村ふるさと学習館運営事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	市民の社会教育活動及び地域文化の振興を図るため、岩見沢市北村ふるさと学習館を設置し、維持管理を行う。	769 (0.2人) 2,209		
郷土科学館管理事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	教育、科学及び文化の発展に寄与する施設として、郷土資料の収集・展示やプラネタリウムの番組提供と科学等に関する事業を通し、郷土理解や青少年の科学する心を育むとともに、関係機関と連携したパネル展など、社会的ニーズを把握しながら生涯学習の機会を提供する。	21,454 (1.7人) 33,694		
	自然体験宿泊学習館運営事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	青少年の健全育成及び社会教育活動の振興に寄与するとともに、文化・スポーツ活動や総合的な宿泊を伴う研修利用のため、自然体験宿泊学習館を設置する。	8,480 (0.3人) 10,640	
来夢21施設管理事業 【図書館】	図書館、資料館、こども館からなる複合施設の管理を行うことにより、地域住民の文化振興と子どもの健全育成及び学習活動を支援する。	9,278 (0.0人) 9,278		
生涯学習センター管理事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	子どもから高齢者まで、市民の生涯にわたる学習を支援する場として、施設を維持管理する。	87,376 (0.2人) 88,816		
図書館活動運営事業 【図書館】	市内4館の図書資料の収集・管理と利便性の高いサービスの提供に努め、子どもの読書活動の推進と幅広い世代に対応した読書普及活動を実施するとともに、市立図書館の計画的な整備を図る。	87,738 (6.0人) 130,938		

# 令和元年度 岩見沢市施策評価シート

基本目標	4	<b>豊かな心と生きる力をはぐくむまち</b>	担当課	生涯学習・文化・スポーツ振興課 教育施設課
基本施策	4	<b>芸術文化・スポーツの振興</b> 市民の芸術文化活動への支援や芸術文化に親しむ環境づくりに努めるとともに、文化財や郷土芸能の保存・継承と活用を通じ、郷土への理解と関心の醸成を図ります。 また、誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことのできるよう、競技スポーツと生涯スポーツの推進を図ります。 さらに、北海道教育大学岩見沢校とも連携し、市民が「芸術文化・スポーツのまち」を実感することのできる取組みを推進します。		

## 施策を取り巻く状況

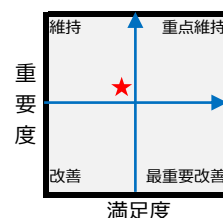
- 芸術文化は、豊かな創造性や感受性を育み、市民の生活に潤いをもたらすものであり、優れた芸術文化に触れる機会の提供や情報発信、市民が気軽に活動できるような環境整備などを通じ、芸術文化のまちづくりを推進することには重要な意義があります。
- 地域の文化財や伝統芸能は、歴史や文化を伝え、郷土への誇りや愛着心を高めるものであることから、保存と活用にも努めるとともに、次世代に継承していくことが重要です。
- スポーツは、体力の向上や健康の保持増進だけでなく、爽快感や達成感といった精神的充足や人と人とのつながりなど、心身両面に豊かさをもたらしてくれます。健康志向が高まりをみせる一方で、子どもが体を動かす機会の減少が指摘されるなど、スポーツに対する市民の様々なニーズがある中で、年齢や運動能力等を問わず、誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことのできる環境づくりが必要とされています。
- 北海道教育大学岩見沢校では、芸術とスポーツに特化した個性的な取組みが行われ、市内でも、その特色を活かした様々な事業やイベントなどが展開されています。今後においても、大学生を中心とした、地域の活性化に資する多様な活動への参画が期待されています。

## 目標達成状況

### 【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R××	R××	R××	R××	順位
満足度	21.6					9
重要度	0.45					19

改善度
-4.33
(25位/32施策)



### 【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
「市民の文化祭」の参加者数	9,175人 (H28)	↗	市民の文化祭」に出品・出演した人及び来場した人の合計	8,008人				
資料館及び指定文化財の利用者数	6,239人 (H28)	↗	資料館及び指定文化財を見学及び利用した人の合計	5,296人				
「体育の日」記念岩見沢市総合体育大会の参加者数	2,692人 (H28)	↗	総合体育大会で各競技に参加した人の合計	3,014人				
教育大との連携事業数	新規	↗	北海道教育大学岩見沢校と市との連携事業数	17				

### 分析

市民意識調査による満足度は高く、改善度は低くなっている。  
市民の文化祭及び資料館等の参加・利用者数は減少しているものの、体育の日記念岩見沢市総合体育大会の参加者数は増加している。

## 総括

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 遅れている	取組と成果	舞台、音楽、伝統文化などの多彩なジャンルで優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、市民の文化活動を促進し、地域文化の振興を図ることができた。 市民の誰もが気軽にスポーツに親しめる機会の充実を図るため、「市民歩け歩け大会」「ウォーキングマラソン」「歩くスキーの集い」等を実施するとともに、小学校低学年を対象とした「楽しいキッズスポーツ教室」を行った。また、各種スポーツ団体をはじめ、全国大会等出場やオリンピック・パラリンピックを目指す強化指定選手等の活動の支援を行った。
課題と今後の方向性	<b>【内部評価】</b> 芸術文化は、豊かな創造性や感受性を育み、市民の生活に潤いをもたらすものであり、優れた芸術文化に触れる機会の提供や情報発信、市民が気軽に活動できるような環境整備などを引き続き行っていく必要がある。 スポーツは、体力の向上や健康の保持増進だけでなく、爽快感や達成感といった精神的充足や人と人とのつながりなど、心身両面に豊かさをもたらすものであり、年齢や運動能力等を問わず、誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことのできる環境づくりが必要とされている。		
	<b>【外部評価意見】</b>		

## 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
文化のまちづくり事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	空知管内で活躍する太鼓団体による演奏会「そらち太鼓フェスティバル」やアマチュアバンドの祭典「サウンドエアー」、札幌交響楽団による「ホクレングリーンコンサート」など、様々なジャンルの音楽公演など、全部で10事業を実施し、3,100人余の集客があった。	A	A	A
健康・スポーツ振興事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	市民の誰もが気軽にスポーツに親しめる機会の充実を図るため、「市民歩け歩け大会」「ウォーキングマラソン」「歩くスキーの集い」等を実施するとともに、小学校低学年を対象とした「楽しいキッズスポーツ教室」を行った。 また、各種スポーツ団体をはじめ、全国大会等出場やオリンピック・パラリンピックを目指す強化指定選手等の活動の支援を行った。	A	A	A

## 事務事業一覧

(単位：千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
絵画ホール運営事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	岩見沢市における美術の振興を図るため、収蔵している松島正幸氏の絵画の常設展示をするとともに、岩見沢市にゆかりのある美術家の作品の収集・保管・展示さらに教育普及活動や企画展示等を行い、将来を見通した特色ある運営に努める。	7,881 (0.0人) 7,881		
栗沢工芸館管理事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	美流渡地区の自然豊かな環境の中に設置された工芸館では、ギャラリーでの工芸作品常設展示とともに、陶芸教室等の講座を開設し、工芸品の創作活動を通して市民の芸術に対する理解を深め、生活文化の向上を図る。	2,517 (0.2人) 3,957		
市民会館文化センター管理事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】	市民の文化教養の向上と市民福祉の増進や教育の振興を図る目的のため、生涯学習活動に対する多様なニーズに対応した活動の場を提供する。	100,417 (0.0人) 100,417		
栗沢文化センター運営事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】	文化活動を促進、支援する場として施設を維持・管理する。 (栗沢文化交流施設供用開始後解体予定)	17,886 (0.0人) 17,886		
野外音楽堂管理事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】	薫り高い芸術・文化を創造・発信し、市民が芸術文化を享受する地域文化を推進するため、野外音楽堂の施設環境充実を図り、来場者が快適な環境で芸術文化を享受できるよう管理運営を行う。	20,075 (0.0人) 20,075		
地域文化振興事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	個性豊かな市民文化の創造に向けて、自主的な文化活動が多彩に繰り広げられ、身近に芸術・文化にふれあう機会を拡大するとともに、歴史や地域性を生かしたまちづくりを進め、うるおいとやすらぎのある文化性の高いまちの環境づくりを推進する。	6,700 (1.0人) 13,900		
重点 文化のまちづくり事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	野外音楽堂や市民会館・文化センターなどを拠点に舞台、音楽、伝統文化などの多彩なジャンルで優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、市民の文化活動を促進し、地域文化の振興を図る。	12,000 (0.5人) 15,600		
文化財・文化遺産保存管理事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	文化財は、地域の歴史、文化等を正しく理解する上で欠くことのできないものであり、文化の向上発展のため、適切な保存が行われるように努める。	3,641 (0.5人) 7,241		
重点 健康・スポーツ振興事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	市民の誰もが気軽にスポーツに親しめる機会の充実を図るとともに、各種スポーツ団体をはじめ、全国大会等出場やオリンピック・パラリンピックを目指す強化指定選手等の活動を支援する。	14,183 (1.0人) 21,383		
体育施設管理事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課】	市民の健康、体力づくりの普及振興を図るため施設の維持管理を行う。	3,972 (0.5人) 7,572		
スポーツセンター・岩見沢トレーニングセンター運営事業 【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】	市民の健康づくり及び競技スポーツの振興と環境整備のため、スポーツセンターの維持管理を行う。市民の基礎体力向上と健康増進を図るための施設であるトレーニングセンターの維持管理を行う。	41,563 (0.0人) 41,563		



事務事業一覧

(単位：千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
東山・岡山地区スポーツ施設運営事業 <small>【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】</small>	安全で快適なスポーツ環境を提供するため各スポーツ施設を維持管理する。市民の健康づくり及び競技スポーツの振興と環境整備のため、東山・岡山地区スポーツ施設の維持管理を行う。	41,044 (0.0人) 41,044		
鉄北地区スポーツ施設運営事業 <small>【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】</small>	安全で快適なスポーツ環境を提供するため各スポーツ施設を維持管理する。市民の健康づくり及び競技スポーツの振興と環境整備のため、総合体育館の維持管理を行う。	37,796 (0.0人) 37,796		
温水プール・北村プール運営事業 <small>【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】</small>	年間を通じて利用可能な温水プールを管理運営する。手軽なスポーツである水泳を通じ、市民の健康づくりを支援する環境を提供する。	39,459 (0.0人) 39,459		
北村多目的体育館・土里夢公園パークゴルフ場運営事業 <small>【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】</small>	市民の健康づくり及び競技スポーツの振興と環境整備のため北村多目的体育館・土里夢公園パークゴルフ場の維持管理を行う。	19,194 (0.0人) 19,194		
北村トレーニングセンター運営事業 <small>【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】</small>	市民の健康づくり及び競技スポーツの振興と環境整備のため北村トレーニングセンターの維持管理を行う。	10,125 (0.0人) 10,125		
栗沢スポーツ公園運営事業 <small>【生涯学習・文化・スポーツ振興課・教育施設課】</small>	市民の心身の健全な発達及び体育の普及・振興を図り、快適なスポーツ環境を提供するため栗沢スポーツ公園の維持管理を行う。	28,563 (0.0人) 28,563		